

新

年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、町民の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

一昨年より猛威を振っている新型コロナウイルス感染症については、町民の皆さまの命と暮らしを守ることを最優先に、ワクチン接種をはじめとした感染拡大防止策はもとより、地域経済と生活支援策に対しても、切れ目なくスピード感をもって取り組んできました。現在のところ、小売状況が続いていますが、新しい変異株「オミクロン株」が日本でも拡大の懸念があることから、町民の皆さまには、今後とも引き続き、基本的な感染防止対策の徹底に取り組まれますよう、ご協力をお願い申し上げます。

昨年は、役場新庁舎の開庁や28年連続となる本町産桃の天皇家・宮家への献上、相馬福島道路の東北自動車道との結節と全線開通、桑折西山城の魅力を全国に発信した「第28回全国山城サミット桑折大会」の開催、早期の利活用が待ち望まれていた福島蚕糸跡地への「商業施設を核としたここにしかない複合施設」の誘致決定など、現総合計画「献上桃の郷こおり 創生プラン」の総仕上げの年にふさわしく、これまでの取り組みが結実した年でありました。

本年は、コロナの克服はもとより、激甚・頻発化する自然災害やデジタル社会の進展、地方創生SDGsの推進など、激変する社会情勢に対応すべく、新総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」の初年度として、着実かつ力強いスタートを切るため、町民の皆さまと共に、「桑折ならではの」施策の展開を通し、「住み続けたい 住みたいまち 桑折」の実現に向け、職員一丸となって行政執行にあたってまいりますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

新

年明けましておめでとうございます。皆さまには、穏やかに初春を迎えられたことと存じます。本年が皆さまにとって良き年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。また、旧年中は議会活動各般に対し、ご理解とご協力を賜り、改めて厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は1月に役場新庁舎の開庁、4月には相馬福島道路の全線開通、7月には28年連続での献上桃認定、9月には定例会にて令和4年度から向こう10年間の新総合計画「献上桃の郷こおり 未来躍動プラン」の可決、さらに、10月には全国山城サミット桑折大会の開催成功など、本町においての一層の発展基盤が整ってきた年でした。

一方では、2月の福島県沖地震被害や4月の凍霜害、そして、一昨年から新型コロナウイルス感染症などで、日常生活や地場産業へ大きな影響がありました。改めて被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。コロナ禍により、議会活動も抑制され、十分な活動が出来ませんでしたが、町内では、福島県沖地震に対し、修繕費や解体事業費などの早期議決、凍霜害に対しては、現場視察と要望活動、感染症対策として、商工会と意見交換を行いながら、事業者支援のあり方を調査し、町へ提言してきました。また、広域的には、町議会が永年にわたり県に要望活動を重ねてきた伊達崎橋架け替え調査費が決定されるなど、一定の成果も得たところであります。

今、社会は人口減少問題や自然災害対策など、多くの課題に直面しています。今後も、議会は町民の皆さまが安全安心で暮らせるまちづくりのため、議会モニターの見も踏まえながら、議会機能を十分に発揮して行政を監視し、町勢発展のため、一層の努力を傾注してまいります。どうかご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

New Year's greetings 2022

新年のごあいさつ



桑折町長 高橋 宣博



桑折町議会議員 片平 秀雄